日本地域福祉研究所　2026 年　冬の公開研究セミナー　開催要項

個人とグループ、地域の福祉力を高める

－多様な住民主体活動への支援－

個別と地域の一体的支援の間には、地域の多様なグループ活動がある。例えば、地域課題発見や共有のための地域懇談会、地域福祉の環境を醸成する講演会や学習会、当事者や家族のためのピアサポートグループ、住民主体活動の立ち上げ支援、その活動継続のための伴走支援等々。そこでコミュニティソーシャルワーカー（地域福祉コーディネーター）は、どのように関わり、住民や対象者や家族を支援し自己効力感や社会的発信力を高め、住民主体活動を発展させているのだろうか。個人のエンパワメントやグループの力を高め、地域の福祉力向上につながる視点や方法を、多様な住民主体活動の支援と介入から学び、議論する場としたい。

【プログラム】

13:30～　受付開始

14:00～　開会　開会あいさつ　日本地域福祉研究所 理事長　宮城 孝（法政大学）

14:05～15:05　第Ⅰ部　基調講演

「フォトボイス

多層（個人・グループ・地域・社会）に働きかける参加型アクションプロジェクト」

米国ミシガン大学ソーシャルワーク大学院　教授／
NPO 法人フォトボイス・プロジェクト共同代表　　吉浜 美恵子 氏

フォトボイス(PhotoVoice)は、参加者自身が撮影した写真をもとにグループでの話し合いを重ねる過程で、自己や地域・社会の課題を探り変革につなげていくことを目指す参加型アクション手法である。フォトボイス・プロジェクトでは、東日本大震災後、被災した女性たちが写真を持ち寄り、自分たちの経験の意味や防災や復興の課題を 15 年にわたり話し合い、分析し、社会に伝えたいメッセージ（声）を発信してきた。写真を介しての継続的な話し合いは、自己認識・洞察を深める場でもあり、相互理解・援助を促進するとともに、地域や社会全体の課題への関心・分析を深め、住民活動や政策提言につなげる力源ともなった。本講演では、写真という視覚的媒体とグループの力の相乗効果を生かし、Paulo Freire（パウロ・フレイレ）が唱える critical consciousness（批判的思考）を助長するフォトボイスの応用課題と可能性について理論基盤やフォトボイス・プロジェクトの実践をもとに考えたい。

15:05～15:15　休憩

15:15～16:55　第Ⅱ部 シンポジウム

進行：神山　裕美（大正大学）
コメンテーター：田中英樹（日本医療大学）大石剛史（東北福祉大学）

【実践報告１】

「住民と共に新しい物語をつくる地域づくり」

・浦添市社会福祉協議会
地域共生課　課長　仲嶺　茜 氏　/
地域共生課　1係　　伊佐　真喜 氏（浦添中学校区 CSW）

沖縄県浦添市は 2006 年よりコミュニティソーシャルワーカーを配置した地域福祉の先進地である。20 年間のコミュニティソーシャルワーク実践の蓄積は、浦添市の住民と共に地域の力を高め、現在も発展し続けている。複雑化複合化した生活課題を「社会問題」として捉えるのではなく、「住民と共に新しい物語をつくる」福祉教育と地域づくりの取り組みを、事例からご紹介いただく。

【実践報告２】

「福祉教育の視点から捉える住民主体活動の形成プロセス
～孤立死ゼロを目指した地域協同実践から～」

・横浜市社会福祉協議会
障害者支援センター　梅木　博志　氏

地域で孤立しやすい人々の存在や地域課題を住民と共有し、目指すべき地域像をともに考えるためには、福祉教育の視点が不可欠である。本実践では、自治会町内会、民生委員、地域包括支援センター、行政等による協同実践プラットフォームを構築し、継続的な話し合いと学び合いを重ねながら取組を展開した。その結果、地域住民の気づきや当事者意識が高まり、多様な住民同士のつながりや支え合いの輪が広がっていった。本報告では、「孤立死０（ゼロ）を目指して～羽沢プロジェクト～」の実践プロセスを振り返りながら、個人の気づきや学びが住民主体活動へと発展し、地域の福祉力向上につながるプロセスを考察する。

閉会あいさつ　日本地域福祉研究所副理事長　田中英樹

■ 開催日時　2026 年 12 月 19 日(土)　14:00～17:00

■ 会場　　大正大学　巣鴨キャンパス　3 号館 2 階 326 教室

■ 開催方法　対面と ZOOM のオンラインによるハイブリッド方式

■ 参加対象　コミュニティソーシャルワークの関係者、研究者・学生等

■ 主催　　特定非営利活動法人　日本地域福祉研究所

■ 参加定員　会場参加者　60 名、オンライン参加者　100 名（申し込み先着順）

■ 参加費　〔個人〕
・一般　3,000 円
・日本地域福祉研究所所員　2,000 円
・大学院生・学生　1,000 円
〔団体参加〕
・5 名以内（オンライン参加のみ）8,000 円
（6 名以上は、5 名ごとに 5,000 円）

■　参加申し込みについて
12 月 11 日（金）　参加申し込み締め切り
12 月 15 日（火）　参加者参加費納入締め切り